

When Esquimaux

福田恆存譯
シェイクスピア全集

10



新潮社版

昭和三十四年

シェイクスピア全集 10.

昭和34年

ハムレット

昭和34年10月31日 発行
昭和34年12月28日 三刷

譯者 福田 恆 存

東京都新宿區矢來町71

發行者 佐藤 亮 一

東京都新宿區矢來町71

發行所 株式會社 新 潮 社

電話東京(34) 7111~9

振替東京 808番

定價 350 圓

亂丁・落丁本は本社又はお買求めの書店にてお取替へします。

印刷・二光印刷株式會社 製本・新宿加藤製本所

© Printed in Japan

目次

ハムレット	5
☆	
解題	199
批評集	215
上演史	229
舞臺寫眞	233

口繪
扉

シェイクスピア遺言書最終頁
『ハムレット』第二・四折本扉圖案

ハ
ム
レ
ッ
ト

ハ
ム
レ
ッ
ト

人 場

物 所

牧	一	オ	ギ	ロ	コ	ヴ	レ	ホ	ポ	ハ	ク	デ
	從	ズ	ル	ー	ー	ォ	イ	レ	ロ	ム	ロ	ン
師	臣	リ	デ	ゼ	ニ	ォ	ア	イ	ー	レ	ー	マ
		ッ	ン	ン	リ	ォ	ー	シ	ニ	ッ	デ	ー
		ク	ス	ク	ア	ォ	テ	ョ	ア	ト	イ	ク
			タ	ラ	ス	ォ	ィ		ス		ア	
			ーン	ンツ		ォ	ーズ				ス	ク

デンマーク王

デンマーク王子、先王の息、現王の甥

宰相

ハムレットの友人

ポロニアスの息

ノールウェイへの使節

ハムレットの嘗ての學友

輕薄な伊達男

マーセラス

バーナード

フランシスコ

見張りの從臣

レナルド

ポローニアスの從僕

役者數名

墓掘り二人

フオーティンブラス

ノールウェイ王子

ノールウェイ軍隊長

イギリス使節

ガートルード

デンマーク王妃、ハムレットの母

オフィーリア

ポローニアスの娘

他に宮廷の貴族、貴婦人、兵士、船乗り、使者、從者、多數
ハムレットの父の亡靈

1

〔第一幕 第一場〕

エルシノア城 銃眼胸壁のうへの狭い歩廊。左右は橋に通じる戸口。星のきらめく寒い夜。

見張りのフランシスコが矛を手に往つたり來たりしてゐる。鐘が十二時を報じる。間もなく、もう一人の見張りのバーナードが同様のいでたちで城から出てくる。闇のなかにフランシスコの足音を聞きつけ、急に立ちどまる。

バーナード 誰か？

フランシスコ なに、きさまこそ。動くな、名まへを言へ。

バーナード わが君の御長命を！

フランシスコ バーナードか？

バーナード おお。

フランシスコ よく來てくれた、時間どほりだ。

バーナード いましがた十二時が鳴つたところだ。さあ、代らう。退つて休め。

フランシスコ ありがたい。なにしろひどい寒さだ。それに、氣がめいつてしかたがない。

バーナード なにも異常はなかつたらうな？

フランシスコ 鼠一匹出なかつた。

バーナード さうか、さ、休んでくれ。途中でホレイショーとマーセラスに遭ふかもしれない、今夜の見張りの仲間だ、急いで来るやうに傳へてくれ。

ホレイショーとマーセラスがやつてくる。

フランシスコ (足音を聞きつけ) あれがさうらしい。止れ、誰だ？

ホレイショー この國の身方。

マーセラス デンマーク王の臣下。

フランシスコ おお、あとを頼む。

マーセラス 引き受けた。お休み。代りは誰だ？

フランシスコ バーナードだ。では、頼んだぞ。(退場)

マーセラス バーナードー！

バーナードー おお、ホレイショーは？ 一緒か？

ホレイショー (握手して) それ、その手がここに。

バーナードー よく来てくれた、ホレイショー。マーセラス、待つてゐたぞ。

ホレイショー ところで、例の一件だが、今夜も現れたか？

バーナードー いや、まだだ。

マーセラス ホレイシヨは問題にしてをらぬのだ。目の迷ひにすぎぬと言ふ。頭から信じようとする、二度もわれわれを襲つたあの恐しい姿を。だから、今夜こそは、せひとも立ち會つてもうといふわけだ。今夜も出るかもしれない。さうなれば、信じてくれようし、それに、話しかけてもらへるからな。

ホレイシヨー ちよ、ちよ、出るものか。

バーナードー まあ、坐れ。もう一度きいてもらはう。かたくなに閉ぢてゐるその耳の砦を開いてくれ。この怪異、すでに二晩になるのだ。

ホレイシヨー では、坐るとするか。さ、バーナードー、話してくれ。

バーナードー 昨夜のことだ。北斗星の西にみえる、それ、あの星が、今もいま光つてゐる、ちやうどおなじ場所に來たときだつた。さう、こちらはマーセラスと二人きり。すると、鐘が一時を打つて――

亡霊が現れる。完全な武裝。手に元帥杖を持つてゐる。

マーセラス しつ、黙つて。見る、あれを！

バーナードー 亡くなつたハムレット王そのままの姿。

マーセラス さうだ、學者に頼まう、話してみてくれ。

バーナードー まへのハムレット王にそつくりではないか、ホレイシヨ。

ホレイシヨー 生きうつした。身の毛もよだつ恐しさ、一體このやうなことが。

バーナードー なにか言つてもらひたいらしい。

マーセラス 話してみろ、ホレイシヨ。

ホレイシヨー 何者だ、そのいかめしい出立ち、亡きデンマーク王の出陣姿そのまま、無法にも、選りに選つてこの眞夜中を？ ええい、答へろ、口をきけ。

マーセラス 怒つた。

バーナードー 行つてしまふぞ。

ホレイシヨー 待て。なにか言へ、なにか。答へろ、口をきけ。(亡霊、消えうせる)

マーセラス 行つてしまつた。答へたくないらしい。

バーナードー どうした？ 見ろ、ホレイシヨー、慄へてゐるではないか、顔色もわるいぞ。これをなんと見る？ 妄想とは言ひきれまい？

ホレイシヨー ああ、たうてい信じられぬ。だが、この目でたしかに見とどけた、歴然たる事實、もう疑ひの餘地はない。

マーセラス ハムレット王にそつくりではないか？

ホレイシヨ― そつくりどころか。装ひもおなじ、あの思ひあがつたノールウェイ王と一戦まじへたをりに著けてをられた甲冑そのまゝ。それに、あの眉根をひそめた氣むづかしい表情は、氷原の闘ひで櫓にのつたポーランド兵を、怒りにまかせて問答無益と一蹴された當時の御姿ながら眼前に眺めるおもひ。不思議なこともあればあるものだ。

マーセラス かうして、まへ二度とも、まさに時刻もおなじ眞夜中、あのいかめしい出立ちで、見張りのそばを通つて行つたのだ。

ホレイシヨ― いま格別おもひあたることもないが、なんとなく不吉な胸騒ぎ、國を亂すただならぬ不祥事の前ぶれかもしれぬ。

マーセラス まあ、坐れ。さういへば、ききたいことがある。いつたい何事だ、この嚴重きはまる取締りは？ それも毎夜毎夜、國をあげての大騒ぎ、晝は晝で、大砲づくりに血道をあげ、外國からは武器をつぎつき大量にしこむかとおもふと、いつばう船大工どもを驅り集め、休みもやらずにこき使ふ。この夜を目についで汗水仕事、そもそもどこに、どんな差し迫つた事態があるといふのだ？ 知つてゐたら、教へてくれぬか？

ホレイシヨ― それなら知らぬでもない。ま、噂はかうだ。ことの起りは亡くなられたハムレット王、それ、いまでも目のあたりお姿を拜したが、かつて王にはみづから一騎打ちを挑まれたことがある。知つてゐよう、相手は野心満々のノールウェイ王フォートインプラス、意氣軒昂たるもの

があつた。が、こちらも剛勇無雙のハムレット王、世界の隅々までその名を轟かせたお方だ。ものみごとにフォーティンブラスを打ち果された。おかげで敵は、命はもとより、おのれの領地までことごとく没収といふ憂きめにあふ始末。騎士道の掟に照して、さういふ取極めがかはされてあつたのだ。もちろん、こちら側でもそれ相當のものは覺悟してゐた。萬一、フォーティンブラスが勝てば、それが文句なしに敵方の手に落ちたわけだが、いまでも話したやうに、結果はハムレット王の勝ち。取極めどほり、敵の領地がこちらの有に歸したのだ。ところで、殺されたノールウェイ王には忘れ形見があつた。名もおなじフォーティンブラス、血の氣の多い世間知らずの若者だが、これが胸に一物あるらしく、最近ノールウェイの邊境に出沒し、ただ食ひものにありつけさへすればなんでもやらうといふ無鐵砲なあぶれものどもを掻きあつめ、何事か企んでゐること。決つてゐる、こちらには見とほした。父親が失つた領地を、なんとしてでも腕づくでとりかへさうといふ魂膽としか思はれない。どうやら、それに備へようといふのが、おもな理由らしい。この見張りはもちろん、國中、上を下への大騒ぎも、つまりはそれと察せられるのだが。

バーナードー それしかあるまい、まさにそれだ。見張りのそばを武裝して通りすぎた不吉なかげ、なにしろ打ちつづく争ひの因になつてきた王のことだ、事なくすめばいいが。

ホレイショー 針のさきほどのごみでも、眼に入れば煩はしい。大昔の話だ、シーザー暗殺のまへには、さしも榮華を誇つたローマにも、いろいろな凶兆が現れたらしい。墓はことごとく罅を開